

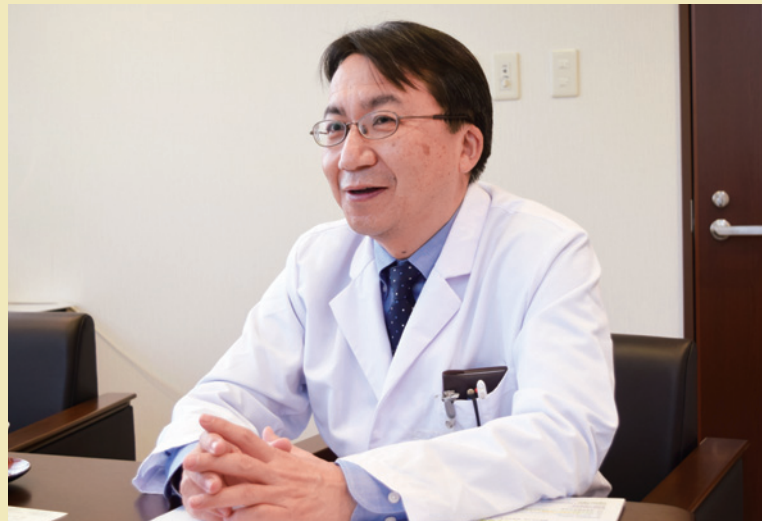
## スポーツ精神医学に情熱を捧げ、回復モデルの道を拓く

### 岡村 武彦 先生

特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院院長

#### Profile

1983年大阪医科大学卒業，同大学神経精神医学教室入局。大阪医科大学神経精神医学教室助手・講師を経て，2001年に特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院の副院長に就任。2005年より現職。大阪医科大学神経精神医学教室臨床教育教授を兼任。日本スポーツ精神医学会理事，NPO法人日本ソーシャルフットボール協会理事長，大阪府サッカー協会スポーツ医学委員。



#### 憧れの医師が創設した病院の院長に就任

#### —先生が精神科を選択されたきっかけは何でしょうか。

私は子どもの頃からサッカーが好きで，大学時代にも全日本医科学生体育大会に出場し優勝するなどのめり込んでいました。もしその頃にJリーグが発足していればスポーツドクターの道を志していたかもしれません。精神科を選択したのは，大学入学後に神経精神医学教室の教授であった満田久敏先生とお話しする機会を得たことがきっかけです。非定型精神病の研究で世界的にも有名であった満田先生はオーラがあり，奈良の田舎から大阪に出てきた当時19歳の私にはとても格好良くみえ，精神科医は格好良いものだと勘違いしたのです（笑）。

#### —新阿武山病院の院長に就任されるまでの経緯をお聞かせください。

大学では臨床精神薬理を専門としていましたが，リハビリテーション（以下，リハビリ）などほかのアプローチにも精通したいと思っていたところへお声掛けいただき，当院に副院長として赴任，後に院長に就任しました。不思議なご縁ですが当院は，「大学精神医学」と「病院精神医学」に二分されていた精神科医療を憂いた満田先生が，同門会有志を集めて1971年に設立された病院です。大阪府北部の高槻市にある273床を有する都会型の精神科単科病院であり，精神科急性期治療病棟，精神一般病棟，精神療養病棟，アルコール治療専門病棟，認知症治療病棟の5つの機能別病棟を有します。